

ワークショップ

《生の哲学の彼方 ベルクソン『道德と宗教の二源泉』再読》

共催：東京大学グローバル COE プログラム「死生学の展開と組織化」
ベルクソン『創造的進化』刊行百周年記念国際シンポジウム実行委員会
後援：在日フランス大使館、ベルクソン哲学研究会

日時：2007 年 10 月 18 日（木）

会場：東京大学 法文二号館教員談話室

プログラム

10：00－10：30 開会式

開会挨拶：島菌進（東京大学、グローバル COE プログラム・拠点リーダー）
趣旨説明：鈴木泉（東京大学）
共催者挨拶：安孫子信（法政大学）

10：30－12：10 第一セッション 司会：鈴木泉（東京大学）

10：30－11：00 杉村靖彦（京都大学）：「田辺元の『二源泉』読解——京都学派の哲学におけるベルクソニズム「受容」の一例として——」
11：00－11：30 岩田文昭（大阪教育大学）：「宗教史における『二源泉』」
11：30－12：10 レスポンス：フレデリック・ヴォルムス（リール第三大学）

12：10－14：00 昼食

14：00－15：00 第二セッション 司会：塚本昌則（東京大学）

14：00－14：30 瀧一郎（大阪教育大学）：「『二源泉』とアナロジーの美学」
14：30－15：00 レスポンス：アルノー・フランソワ（リール第三大学）

15：00－15：20 休憩

15：20－17：00 第三セッション 司会：杉山直樹（学習院大学）

15：20－15：50 鶴岡賀雄（東京大学）：「神秘主義の歴史の中の『二源泉』」
15：50－16：20 中村弓子（お茶の水女子大学）：「哲学者のモラルと『道德と宗教の二源泉』」
16：20－17：00 レスポンス：アルノー・フランソワ（リール第三大学）

17：00－18：00 全体討議 司会：安孫子信（法政大学）

18：00 閉会挨拶：安孫子信（法政大学）

18：15－20：15 レセプション 会場：東京大学工学部二号館展示室（松本楼）

挨拶：立花政夫（東京大学・文学部長）

